



平成27年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月9日 東

上場会社名 株式会社パシフィックネット 上場取引所
 コード番号 3021 URL <http://www.prins.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 上田 満弘
 常務取締役コーポレー
 問合せ先責任者 (役職名) トセンター長兼財務経 (氏名) 菅谷 泰久 (TEL) 03-5730-1442
 理部長
 四半期報告書提出予定日 平成26年10月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年5月期第1四半期の連結業績 (平成26年6月1日～平成26年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年5月期第1四半期	1,150	27.2	119	59.7	124	51.7	84	70.5
26年5月期第1四半期	904	12.4	74	737.3	82	572.3	49	803.1

(注) 包括利益 27年5月期第1四半期 84百万円(70.4%) 26年5月期第1四半期 49百万円(805.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年5月期第1四半期	16.24	—
26年5月期第1四半期	9.53	—

(注) 平成26年3月1日付けで普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年5月期第1四半期	2,876	1,827	63.5
26年5月期	2,649	1,825	68.9

(参考) 自己資本 27年5月期第1四半期 1,827百万円 26年5月期 1,825百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年5月期	—	0.00	—	16.00	16.00
27年5月期	—	—	—	—	—
27年5月期(予想)	—	0.00	—	16.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年5月期の連結業績予想 (平成26年6月1日～平成27年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,030	11.7	97	△22.6	103	△25.1	80	△1.3	15.56
通期	4,253	4.8	300	5.4	311	1.2	171	△6.3	33.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年5月期1Q	5,175,000株	26年5月期	5,175,000株
② 期末自己株式数	27年5月期1Q	70株	26年5月期	70株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年5月期1Q	5,174,930株	26年5月期1Q	5,174,982株

(注)平成26年3月1日付けで普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して26年5月期1Qの期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(賞与引当金)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税増税の駆け込み需要による反動減はあったものの、各種経済政策の効果を背景に雇用情勢の改善等が進み、緩やかな回復基調で推移いたしました。

当社グループを取り巻く事業環境は、ウインドウズXPサポート終了に伴うPC調達・入れ替えは大企業を中心に一巡いたしました。使用済み中古情報機器等の排出は比較的高水準で続いております。

一方、中古パソコンの需要は、XP機入れ替えの一巡で鈍化しておりますが、中古スマートホン・タブレット等の中古モバイル機器への需要は増加傾向にあります。

このような環境下、市場変化への対応、市場シェア拡大及び収益性の向上を目的とした諸施策を推進いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高1,150,248千円（前年同四半期比27.2%増）、営業利益119,155千円（前年同四半期比59.7%増）、経常利益124,452千円（前年同四半期比51.7%増）、四半期純利益84,030千円（前年同四半期比70.5%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 引取回収・販売事業

引取回収事業は、全国主要都市に引取回収拠点8箇所を配したネットワーク、ISO27001（ISMS）並びにプライバシーマークに準拠した情報漏洩防止のためのセキュリティ体制の下、リース会社及び一般法人への顧客対応力を強化いたしました。

また、入荷台数増加のためのマーケティング強化及び市場変動へ備えた徹底的な生産性の向上、業務プロセスの効率化を継続的に実施し、顧客基盤拡大にも取り組んだ結果、中古情報機器等の入荷台数は前年同四半期に比べ大幅に増加いたしました。

販売事業は、仕入強化による中古情報機器等の大幅な入荷台数の増加を受け、業者向け卸販売が好調に推移いたしました。

また、エンドユーザー向け販売は、ウインドウズXPサポート終了に伴うウインドウズ7需要は一巡しましたが、安価な中古品の需要は引き続き高く、昨年10月にオープンしたPCNETアキバ本店による販売拡大もあり、個人販売並びに法人販売も好調に推移いたしました。

この結果、売上高1,021,393千円（前年同四半期比30.1%増）、営業利益119,585千円（前年同四半期比80.8%増）となりました。

② レンタル事業

レンタル事業は、営業戦略を抜本的に見直し、一般法人向けの営業活動を強化した結果、長期レンタルの受注高が前年同四半期に比べ増加し増収となりましたが、短期レンタルの受注高が減少した結果、売上原価率が増加いたしました。

この結果、売上高128,854千円（前年同四半期比8.3%増）、営業損失429千円（前年同四半期は営業利益8,452千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、2,876,234千円(前連結会計年度末比227,169千円増)となりました。

この内、流動資産は1,447,499千円(前連結会計年度末比140,824千円減)となり、主に売掛金が20,282千円、商品が151,632千円それぞれ増加し、現金及び預金が305,408千円減少したことであります。

固定資産は1,428,735千円(前連結会計年度末比367,994千円増)となり、主にレンタル資産(純額)が53,344千円、レンタル資産の取得に向けた投資により、有形固定資産その他に計上の建設仮勘定が284,843千円それぞれ増加したことであります。

負債は1,049,123千円(前連結会計年度末比225,943千円増)となり、この内、流動負債は755,902千円(前連結会計年度末比17,390千円増)で、主に賞与及び納税資金として当座貸越による短期借入金が200,000千円、1年内返済予定の長期借入金が54,127千円、賞与引当金が29,328千円それぞれ増加し、買掛金が40,394千円、未払法人税等が95,386千円それぞれ減少したことであります。

固定負債は293,220千円(前連結会計年度末比208,553千円増)となり、主にレンタル資産の取得に向けた投資により、長期借入金が206,250千円増加したことであります。

純資産は1,827,111千円(前連結会計年度末比1,225千円増)となり、主に四半期純利益84,030千円の計上による増加と剰余金の配当82,798千円による減少であります。

また、当第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は63.5%(前連結会計年度末は68.9%)で、1株当たり純資産額は353円7銭であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月期第1四半期の連結業績は、平成26年7月15日の「平成26年5月期決算短信」で公表いたしました第2四半期(累計)連結業績予想の営業利益、経常利益、四半期純利益を上回りましたが、平成27年5月期第2四半期(累計)及び通期の連結業績予想につきましては、市場動向や戦略投資等の状況を踏まえ現在精査中であります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	815,102	509,694
売掛金	233,584	253,867
商品	415,483	567,115
その他	129,067	119,842
貸倒引当金	△4,913	△3,020
流動資産合計	1,588,324	1,447,499
固定資産		
有形固定資産		
レンタル資産	993,271	1,085,937
減価償却累計額	△449,701	△489,023
レンタル資産(純額)	543,569	596,914
その他	580,675	881,778
減価償却累計額	△443,126	△451,863
その他(純額)	137,549	429,914
有形固定資産合計	681,118	1,026,828
無形固定資産	92,606	109,301
投資その他の資産		
差入保証金	235,301	236,862
その他	51,856	55,897
貸倒引当金	△141	△155
投資その他の資産合計	287,016	292,605
固定資産合計	1,060,741	1,428,735
資産合計	2,649,065	2,876,234
負債の部		
流動負債		
買掛金	205,469	165,074
短期借入金	—	200,000
1年内返済予定の長期借入金	62,143	116,270
未払法人税等	120,430	25,044
賞与引当金	—	29,328
商品保証引当金	7,693	8,601
その他	342,776	211,583
流動負債合計	738,512	755,902
固定負債		
長期借入金	—	206,250
資産除去債務	78,692	76,747
その他	5,973	10,222
固定負債合計	84,666	293,220
負債合計	823,179	1,049,123

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	432,750	432,750
資本剰余金	525,783	525,783
利益剰余金	867,525	868,757
自己株式	△17	△17
株主資本合計	1,826,040	1,827,272
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14	97
為替換算調整勘定	△168	△257
その他の包括利益累計額合計	△154	△160
純資産合計	1,825,886	1,827,111
負債純資産合計	2,649,065	2,876,234

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年8月31日)
売上高	904,308	1,150,248
売上原価	445,667	566,535
売上総利益	458,640	583,712
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	127,205	138,112
賞与引当金繰入額	21,636	24,002
退職給付費用	5,508	5,056
地代家賃	74,900	91,798
その他	154,799	205,587
販売費及び一般管理費合計	384,050	464,557
営業利益	74,590	119,155
営業外収益		
受取利息	41	41
受取配当金	—	48
受取家賃	751	864
為替差益	280	—
受取賃貸料	3,600	2,700
貸倒引当金戻入額	2,170	1,879
雑収入	1,284	462
営業外収益合計	8,128	5,996
営業外費用		
支払利息	689	505
為替差損	—	193
営業外費用合計	689	698
経常利益	82,029	124,452
税金等調整前四半期純利益	82,029	124,452
法人税、住民税及び事業税	31,179	17,410
法人税等調整額	1,557	23,011
法人税等合計	32,736	40,421
少数株主損益調整前四半期純利益	49,292	84,030
四半期純利益	49,292	84,030

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	49,292	84,030
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△76	83
為替換算調整勘定	98	△89
その他の包括利益合計	22	△6
四半期包括利益	49,314	84,024
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	49,314	84,024

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成26年6月1日 至平成26年8月31日)

該当事項はありません。

(賞与引当金)

前連結会計年度においては、従業員賞与の確定額を未払費用として計上しておりましたが、当第1四半期連結累計期間は支給額が確定していないため、支給見込額を賞与引当金として計上しております。なお、前連結会計年度においては支給確定額86,056千円を未払費用に含めて計上しております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			四半期連結損益計算書計上額
	引取回収・販売事業	レンタル事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	785,376	118,932	904,308	904,308
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	785,376	118,932	904,308	904,308
セグメント利益	66,137	8,452	74,590	74,590

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書に計上された営業利益が一致しているため、該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年6月1日 至平成26年8月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			四半期連結損益計算書計上額
	引取回収・販売事業	レンタル事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	1,021,393	128,854	1,150,248	1,150,248
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	1,021,393	128,854	1,150,248	1,150,248
セグメント利益又は損失(△)	119,585	△429	119,155	119,155

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書に計上された営業利益が一致しているため、該当事項はありません。